

# 農学科

## 1. 教育研究上の目的

本学科は、消費者のより健康で豊かな生活に資する農産物の安定生産のための理論を構築するとともに、それらを基にした技術を開発して、農業の発展に資することを目的としている。そのために、農作物の特質、栽培技術等の学理を追求することを通して、持続可能な次世代型農業の創造に貢献できる教育・研究を行う。また、実学的な教育の実践のほか、課外活動への参加も推進することによって、国内はもとより世界の農業や、それを取り巻く広範囲な分野で羽ばたくことのできる人材を養成する。

## 2. 教育目標

農学科は、その人材養成目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。

- (1) 農業・農学に関する広範な知識と問題解決能力を持ち、農業や関連産業の発展に貢献できる能力を有する者
- (2) 食料、健康、環境問題などに積極的に関与できる能力を有する者

## 3. ディプロマ・ポリシー

農学科は、農学に関わる広範な知識と、思考力、判断力、問題解決能力を身につけ、国内はもとより世界の農業や、それを取り巻く広範囲な分野で羽ばたく人材の養成のため、以下の能力を備えた学生に学位を授与します。

- (1) 農業や関連産業の発展に必要な基礎科学、基礎技術に関する知識と理解力を有している。
- (2) 農業はもとより、食料、健康、環境問題などの分野における問題解決能力を有している。
- (3) 農業、食料、健康、環境問題などの分野における学修で得た知識を活かして、社会人として主体的、協働的な活動ができる能力を有している。
- (4) 農業や関連産業の新しい未来を築くことのできる能力を有している。

#### 4. カリキュラム・ポリシー

農学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、生産農学分野の教育実践のため、専門基礎科目および専門科目を設け、作物生産のみならず環境保全に果たす農業の役割の重要性を理解させる。さらに、実験、演習、農業実習のほか卒業論文を必修とし、農学における広範な知識と理解力を身につけた人材を育成するため、以下のことに配慮しながら教育課程を編成します。

- (1) 農業・農学に関わる広範な知識を理解させるために全学共通科目、学部共通科目、学部専門科目、学科基礎科目を配当する。
- (2) 農業生産、環境問題などの諸問題を理解させ、問題解決能力を修得させるために専門基礎科目を配当する。
- (3) 専門基礎科目などの知識を基に、実践的専門知識と技能を修得させるために専門コア科目を配当する。
- (4) 論理的な思考力、表現力、討議力、さらにはコミュニケーション能力を修得させるために、演習と卒業論文からなる総合化科目を配当する。

#### 5. アドミッション・ポリシー

農学科では、農作物の特質、栽培・管理技術、遺伝的多様性などに興味を持ち、豊かな心と実学的知力を身につけて、国内外において農業を中心とした広範囲な分野で活躍しようとする意欲のある学生を求めています。

- (1) 農学に留まらず、生命、生態系など、生物学に関する素養と化学、数学に関する基礎学力を身につけている。
- (2) 農業および関連産業で活躍するために、柔軟な思考力と豊かな表現力を備えている。
- (3) 農業問題、環境問題などを主体的、協働的に学ぶ意欲を有している。